

編集後記

徳島赤十字病院 看護部 久米宏実

医療の発展に寄与する使命感のもと、医療行為の経験を情報化し発信することを目的とした院内医学雑誌第24巻を、平成最後の年に発行する運びとなりました。ご多用の中、各職種の方より投稿をいただき感謝いたします。

2018年の日本は、冬季五輪平昌大会でフィギュアスケート男子の羽生結弦選手が足の負傷を乗り越え「連覇達成」に輝くという感動の幕開けでした。女子スピードスケートやカーリングの選手も大健闘し、新語・流行語大賞を受賞した「そだね～」を連呼しながら、若い世代が活躍する姿に元気と勇気をもらいました。

一方、「西日本豪雨」「北海道胆振地震」と未曾有の震災が続いて起こり、予想を超える自然の驚異を目の当たりにした年でもありました。いち早く救助に向かう赤十字救護班を、赤十字人として誇りに感じ、また復興に立ち向かう被災者の姿に心を動かされ、有事に備えた日々の訓練の重要性を再認識しました。このような救護活動の経験値を記録に残し見える化することは、速やかな情報共有につながり、先人の経験をフルに活かすことになると思います。

さて、看護部でも、臨床実践に基づく研究発表の場として、年1回院内看護研究発表会を開催しています。文献検索から始まり、論文作成まで、多くの労力と時間を費やしますが、達成感や充実感を得て成長し、新たな知識や知見を共有する貴重な場となっています。今後も学会発表や本誌への論文投稿を通じて研究実績を蓄積し、研究の質向上を図り、組織横断的に、チーム医療に貢献していきたいと存じます。

最後に、引き続き多くの職種の方に本誌への寄稿をお願いするとともに、当院のさらなる発展を祈念し、編集後記とさせていただきます。

編 集 委 員 会

委 員 長	加藤 道久		
委 員	長江 浩朗	武田 芳嗣	渡邊 力
	新谷 保実	福村 好晃	別宮 史朗
	岸 宏一	秋月 裕則	湯浅 康弘
	松島 弥栄	庄野 永恵	赤川 拓也
	高松 誉明	久米 宏実	桑村富久枝
	坂田 直紀		
事 務 局	船田 正博	大岸真寿美	香川 由美

Tokushima Red Cross Hospital

Medical Journal

発行日 2019年3月25日

発 行 徳島赤十字病院

〒773-8502

徳島県小松島市小松島町字井利ノ口103番

Tel 0885-32-2555 Fax 0885-32-6350

印 刷

株式会社 猿楽社

〒770-0047

徳島市名東町3-332-90

Tel 088-678-3465 Fax 088-678-3466

ISSN 1346-9878